

■伊東さん宅の家業体験メニュー

- 11 日(休) 13:00 入村式
- 14:00 久賀の歴史について
- 14:30 さとも掘り・みかん収穫
- 16:30 夕食作り(魚のさばき方)
- 22:00 就寝
- 12 日(休) 6:30 起床
- 8:30 四岩合わせ奇岩めぐり
- 11:30 昼食(帯石にて弁当)
- 13:30 離村式



生徒さんからたくさんの元気をもらいました。



▼受入民家(久賀)

伊東康雄さん  
千鶴さん

11日はあいにく天候が悪く海が荒れ、昼からは沖に出て船釣り体験を行う予定でしたが、知人にお願ひし畑での作業にメニューを変更しました。また夕食の食材の魚もい

に協力をいただきながら、どうにか務めることができました。地域の皆さんに感謝しています。生徒さん達は純真で元気いっぱい、いい子達ばかりでした。今は大事な生徒さんを無事に帰したほっとした気持ちと、もう会えないかもしれないと思う寂しさと、気持ちが入り混じっています。また来年もぜひ受入民家として参加したいです。



てくれました。

また家業の手伝いをしてもらい、「助かったよ。ありがとう。」と生徒に感謝の言葉をかけていました。

各民泊先で昼食をとった後、入村式と同じ場所で離村式を行いました。離村式会場へ向かう生徒達から、「帰りたくない。」という声がたくさん聞かれました。

離村式では、生徒から「周防大島のみなさんの温かい人柄に触れて、うれしかった。皆さんと別れるのがつらい。」と、涙を流しながらの言葉に、会場にいた皆さんも涙で目をうるませていました。

ありのままの田舎の暮らしを体験し、地元の方と一緒に過ごし、心と心の交流をすることによって、生徒達にとっては忘れることのできない、一生の思い出となりました。

また、受入民家の方々も、生徒達からたくさんの元氣と笑顔をもらいました。

なぜ、周防大島町なの？

最近の修学旅行

「えっ？修学旅行で周防大島町を訪れたの？」って思われる方がいるかもしれません。

最近では修学旅行が「見る」観光から「体験型」観光へと変わってきています。しかも、その訪れる場所というのが、周防大島町のような農山漁村です。農山漁村の人々の暮らしそのものを体験し、そこに住んでいる人との「心と心の交流」によって、子ども達にとって大きな教育効果が得られるということ、「農山漁村における体験型観光」が近年、非常に注目を浴びてきています。

周防大島町では観光交流人口100万人を目指しており、今後も多くの人に感動を体験してもらうため、積極的にPRし、修学旅行等の誘致に力を入れていき、この体験型観光で、周防大島を今まで以上に元気にしていきます。

<募集>

民泊受入れ家庭を募集します。

周防大島町体験交流型観光推進協議会では、引き続き民泊受入を行ってくださる方を募集します。

子ども達を泊めて子ども達と交流したい、してみたいという皆さん、是非ご協力をお願いします。

■問い合わせ 商工観光課

☎0820(79)1003



かもちづくり体験

想像してたのと全然違ったけど、すごくおいしい！



地引網体験

網の中を見てビックリ！タコがとれたよ。